

本時のねらい

楽しみが伝わるように、プレゼンテーションソフトを使って、言葉の使い方や表現の仕方を工夫する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Flip を使うと、音声や色、絵で簡単に表現することができる。
- ・Flip で録音すると、自分の音読を何度も聞き返したりやり直したりすることができる。
- ・Flip は、動画保存ができ、自分の成長に気づくことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Flip ・コグトレオンライン

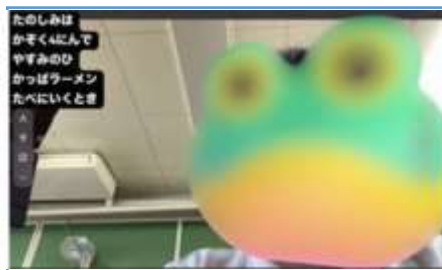
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○ビジョントレーニングを行う。 アプリ「コグトレオンライン」に取り組み、学習へ気持ちを切り替える。 【写真1】	○切り替えが苦手な児童も、「コグトレオンライン」の活用により、ゲーム感覚で意欲的に取り組むことができる。
展開 (30分)	本時のめあて：たのしく音読をしよう！ ○Flip を使い、前時に作った「たのしみは」を音読し、録画する。 ・メモアプリで作成した文を Flip にコピー＆ペーストする。 ・自分の文に合わせて背景やエフェクトを選択する。 ○録画した「たのしみは」に合わせて、楽しさを表現した動画を作る。 ・伝えたいことに合わせた絵文字などを追加する。 【写真2】	○作成した文章を机に置きながら音読をすると、目線が下がってしまうが、テキストを画面上にコピー＆ペーストすることで、画面を見ながら読むことができ、しっかりと顔を上げて録画ができる。 ○絵文字や背景を選んで追加することで、表現が苦手な児童も楽しみながら取り組むことができる。 ○何度でも好きな場所から再生できるため、表現の足りないところを探したり、表現した内容が適切かどうかを確認したりしながら作成することができる。
まとめ (5分)	○次時の見通しを持つ。 ・次時にどうしたいかをメモする。 【写真3】	○メモアプリに見通しをメモし、次時の始めに確認できるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】「コグトレオンライン」に取り組み、学習へ気持ちを切り替える。



【写真2】Flip を使い、前時に作った「たのしみは」を音読し、録画する。



【写真3】次時にどうしたいかをメモする。

児童生徒の反応や変容

- ・音読を苦手だと感じている児童も、絵文字やエフェクトを自分の好みに合わせて入れることができるので、楽しんで取り組むことができた。
- ・Flip には様々なエフェクトがあるため、「今度はこれを使ってみよう！」と、次時の学習を楽しみにする前向きな興味を示していた。
- ・録画した音読を聞き返すことで、「ここはもう少しはっきり読みたい」と、自分で読み方を工夫し、聞きとりやすくなる良さに気づいていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・人前で読むことが苦手な児童でも、場所を選んで記録ができるので、一人で取り組める場所に行き、読む練習をすることができる。
- ・録音を聞き返すことができるので、声量や区切りについて、聞き取りやすい読み方を自ら見つけることができる。
- ・動画をためることができるので、毎日の音読の記録を残すことができる。